

表3 2種の除草剤の除草効果及びゲンチアナに対する薬害について

試験区	イネ科雑草 ¹⁾		非イネ科雑草 ¹⁾				総計 ¹⁾		発生程度 ¹⁾ 放置(無 処理)に 対する 割合 %	ゲンチアナ 苗生存数 ²⁾	
	スズメカサバ		オランダミナモト		ノコギリ		発生数	乾物重		実数	生存 割合 %
	発生数	乾物重	発生数	乾物重	発生数	乾物重			発生数		
放置(無処理) 反復1	110	2.16	0	0	3	0.01	113	2.17		23	
放置(無処理) 反復	60	2.39	1	0.07	3	0.27	64	2.73		52	
平均					1		2.45		100.0	37.5	100
手除草 ³⁾ 反復1	15	0.07	0	0	1	0.01	16	0.07		43	
手除草 反復2	19	0.05	0	0	1	0.01	20	0.06		75	
平均							0.06		2.6	59.0	157
ロロックス 反復1	2	0	0	0	0	0	2	0		1	
ロロックス 反復2	1	0	0	0	0	0	1	0		0	
平均							0		0.1	0.5	0.8
ラウンドアップ ⁴⁾ 反復1	146	1.59	0	0	8	0.28	154	1.87		20	
ラウンドアップ ⁴⁾ 反復2	91	1.30	0	0	3	0.12	94	1.42		14	
平均							1.64		67.1	17.0	45

¹⁾ 雑草調査日：2010年6月18日, ²⁾ ゲンチアナ生存状況調査：2010年8月3日, 調査面積：30x80 cm=0.24㎡

³⁾ 2010年6月14日に実施

⁴⁾ 処理日：2010年5月4日, ロロックスは100 g/ 10a (100Lに溶解), ラウンドアップは500mL/10a (100Lに希釈
播種：2009年10月26日, 8.2g/10m, 手押しプランター (播種板：10mm×20穴 (モッコウ用))

発芽開始日：2010年5月13日



無処理区 (放置区)



無処理区 (手除草)



ラウンドアップ散布区



ロロックス散布区

図2 ゲンチアナ苗の生存状況 (2010年8月3日)

表4 2種の除草剤がゲンチアナの生育に及ぼす影響

試験区	生存株数 /0.24m ²	葉数 /plant	草丈 cm	根長 cm	根頭径 mm	乾物重 (g)			総乾物重 /0.24m ²
						地上部 /plant	地下部 /plant	合計 /plant	
放置(無処理) 反復1	20	11.0	3.3	7.6	2.7	0.10	0.06	0.16	3.11
		2.0	1.2	2.8	0.8	0.05	0.03	0.08	
放置(無処理) 反復2	45	10.9	3.5	6.7	2.6	0.10	0.07	0.16	4.57
		2.3	0.7	2.4	0.8	0.05	0.04	0.09	
手除草 反復1	36	11.7	3.9	7.3	3.3	0.13	0.10	0.23	5.70
		2.3	1.1	3.2	1.2	0.07	0.08	0.15	
手除草 反復2	67	10.9	4.2	10.2	3.3	0.13	0.10	0.23	8.60
		2.1	0.9	3.0	0.7	0.04	0.04	0.08	
ロックス 反復1	1	14.5	4.4	7.0	2.4	0.16	0.06	0.22	0.22
ロックス 反復2	0								0
ラウンドアップ 反復1	19	13.2	2.0	5.4	1.7	0.05	0.03	0.08	1.44
		1.9	0.6	1.6	0.5	0.02	0.01	0.03	
ラウンドアップ 反復2	11	12.5	3.9	6.7	2.9	0.12	0.08	0.21	2.28
		3.2	1.4	3.9	1.2	0.10	0.07	0.17	

放置区, 手取り区は20個体, 除草剤区は生存したすべての株の平均値(上段)と標準偏差(下段)。

総乾物重は生存株すべての重量を測定し合計して求めた。

調査: 2010年10月7日, 雑草発生調査を行った同一場所30x80 cm(0.24m²)の全株掘上げて行った。:
2010年7月21日に全試験区共通に除草(手除草)。

その他の栽培, 処理条件は表1に同じ。

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

原著論文

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻, 号	ページ	出版年
林 茂樹, 他	北海道北部地域におけるシャクヤク収穫後の調製方法が生薬の品質へ及ぼす影響	生薬学雑誌	64 (2)	68-75	2010
林 茂樹, 他	成分含量, 生薬の性状および農薬形質からみた薬用シャクヤク品種の育成—低開花率により摘花及び摘蕾作業の省力が可能になる新品種について	生薬学雑誌		投稿中	

